

# 守屋てるひこ便り

Vol.5



編集発行：守屋てるひこ事務所  
小田原市荻窪 317-1 イセトヨビル 2階  
電話 43-9918 FAX43-9917

## 9月補正予算の一部をご紹介します！

### プレミアム付商品券事業

12月1日から3か月使用できるプレミアム付商品券を発行いたします。  
紙媒体：プレミアム率25%（1冊 12,500円分を1万円で販売）  
デジタル媒体：プレミアム率30%（1冊 13,000円分を1万円で販売）  
一人合計3冊までの予約販売（応募多数の場合は抽選）  
発行総額（額面）：7億6千万円

詳細は随時、市のホームページにて公開していきますので、是非ご覧ください。

### ご当地ナンバープレート 交付事業

原動機付自転車の標識（ナンバープレート）に  
**ガンダムのデザイン** を活用した  
ご当地ナンバープレートの交付を行います。

- ・作成枚数：3,500枚
- ・令和4年1月から交付
- ・事前申込制（11月事前申込受付で予定枚数を超えた場合は抽選）
- ・利用者負担なし
- ・通常版から図柄入りへの変更も無償（但し、通常版返却できる場合のみ）

### 交通事業者 感染症対策支援事業

バス、タクシーを運行する交通事業者が行う感染症対策強化策に対する支援を県と協調して行います。（県 1/2：市 1/4：事業者 1/4）  
事業費 バス16万円/台 タクシー4万円/台

### ★てるちゃんのちよつと一息★

読書の秋まではもうすぐ。私のお勧めはフレデリック・ギバードの「タウン・デザイン」です。まだまだステイホームが続きます。よろしかったら皆様も是非ご一読ください。



LINE  
公式アカウント



活動の詳細は  
どちらからも  
ご覧いただけます  
日々更新中！



フェイスブック

### 被災者生活 再建支援制度

自然災害で被災した世帯に対し、生活の再建を支援し、住民の生活の安定を図るための制度を常設します。これは、国や県の支援の対象とならない場合に、市が独自に支援するもので、小田原市にとって初めての常設の制度です。7月の豪雨災害から適用いたします。全壊の場合最大300万円。

### 農地災害 復旧工事補助金

災害により農地が被害を受けた際、国の災害復旧事業で対象とならない農地の復旧事業費の一部を、市単独の補助制度を新設し支援します。  
※事業費×2/3  
（上限 266,000円）  
事業費40万円以上は国庫補助対応のため、この事業は事業費40万円以下を対象

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかかりません。8月2日に発令された緊急事態宣言も、9月12日まで延長されております。5月の第4波の時期と比べると感染者の中の高齢者の割合が減っていることから、ワクチン接種には、相当程度の効果があると見込まれます。8月19日から、59歳以下の方の新型コロナウイルスワクチン接種を開始しております。ワクチンは2週間に1度、国から供給されます。9月の1回目は、2週間で18,720回分、1週間にすると9,360回分のワクチンが供給されることになり、接種のスピードも、この供給量に応じたものになることをご理解ください。大変厳しい状況の中、ワクチン接種にご協力をいただいている医師会をはじめとする、医療関係者の皆様、そして厳しい状況の中で、事業を継続されている事業者の皆様には大変心苦しく思いますが、今しばらくのご協力をお願いします。感染拡大を防ぐには、市民一人ひとりの行動がとても重要です。人込みをなるべく避ける、人との接触する回数を減らすといった努力によって、感染は減少していくものだと思います。市民の力を合わせて、この難局を乗り越えていきましょう。（8月18日付）

### 【 8月の土砂災害 】（8月18日付）

土砂崩れが発生した米神地区を調査しました。今後は抜本的な対策工事を行う必要があると考えますが、工法や費用等を踏まえて、県や関係機関と調整を行います。土砂崩れの起点



にも足を運び調査しました。上から見ると急峻な崖地が数十メートルにわたりえぐられているのがよくわかります。これだけの土砂が崩れたにも関わらず、人的被害のなかったことに、改めて安堵しました。このような箇所は他にも沢山存在するので、果たして今後の対応をどうしたら良いものか頭を悩ませています。



酒匂川スポーツ広場を調査しました。この場所は7月にも冠水し、関係者のご尽力もありなんとか復旧に漕ぎつけましたが、再度の被災に茫然としました。河川管理者である県や、スポーツ団体と調整しながら復旧を進めてまいります。やはり移転整備が必要と強く感じました。

